



虹ヶ丘

<https://kawasaki-edu.jp/2/511/nizigaoka/>

虹ヶ丘小学校
ホームページ



学びの多い一年

校長 井上 恵子

校長室の窓から見える青空、紅梅と白梅が素敵です。先日見かけた野鳥はメジロでしょうか。梅の木に止まっていた。

先日の学校報告会、PTA総会、懇談会にお越しいただきありがとうございました。年度末とあって学習発表会も目白押しですが、お忙しいなか、子どもたちの姿を見るために時間をつくってくださることに感謝申し上げます。

2月8日土曜日、中原区の平間小学校で開催された「エネルギー・環境子どもワークショップ in 川崎 2025」に5年生が参加してきました。このワークショップ事業は、平成30年度地球温暖化防止活動 環境大臣表彰を受賞したということです。5年生は、総合の学習「虹ヶ丘 特産品 ～輝け◆地域と虹の架け橋～」として、ひろばだけで野菜やお米を育てました。地域のお店のご協力により、収穫したナスをパンや天ぷら・焼き鳥などのメニューに加えていただき、実際に販売もしてくださったのです。お米は、収穫した後に美味しく頂くだけでなく、藁をなってお正月飾りやお雛様飾りをつくったり、ぬか漬けにしたり、無駄なく使い切りました。

ワークショップでは、これらの活動をスライドでプレゼンしたり、体験コーナーでは、藁を編んでお雛様とお内裏様をつけて飾りを作ったり、レシピ集やスライド、のらぼう菜を自由に見ていただくなどしました。収穫したのらぼう菜の種を配ったことも大変喜ばれました。私もぬか漬けコーナーを担当していましたが、「学校でこんなに野菜やお米を作れるのですか」と驚く大人の方が多かったです。これらの活動が評価されて、「ワークショップ大賞」を受賞しました。地域と共に活動をしていることとSDGsの目標「つくる責任 つかう責任」の実現をめざした活動だったことを褒めていただきました。参加者からこのような感想もいただきました。

- ・虹ヶ丘小学校はお米をつくっていていいなと思いました。(高津小 子ども)
- ・作った野菜を学校の給食に！とてもいいですね。(下沼部小 子ども)
- ・野菜で地域を笑顔にするととてもいい考えですね。作り方などの説明がすごく分かりやすかったです。(鷺沼小 子ども)
- ・野菜や米を育てるところから、長い時間と手間をかけてこの活動に取り組んできたことがわかりました。(下沼部小 先生)
- ・地域と協力して取り組んでいる様子が伝わりました。虹ヶ丘というまちが、いつまでも美しいまちであるよう、次の学年にも伝えてください。(末長小 先生)
- ・野菜を育て、食べて、体験をしたことで、「陸の豊かさ」の大切さを実感していることを感じました。さらに、それを地域のお店とコラボして、「まちづくり」をしているところもすてき！子どもでも、自分たちの地域をつくっていけることを学んでいるようで、素晴らしい発表でした。(柿生小 先生)

この一年間、学校外や地域の中に飛び出していき、さまざまな方々とかかわりをもつことができました。

4年生は、福祉をテーマとし、麻生支援学校・ヴィラージュ・コミュニティを何度も訪ねました。一緒に活動をしたり体験させていただいたりして、たくさんの方々から学ぶことができました。ヴィラージュを担当した児童には、一つの建物に5つのサービスがあること、エレベーターのボタンを交互に動かさないといけない工夫があること、ヴィラージュの方が作った折り紙やリースの作品が飾られていることなどの新しい気づきがありました。クイズボウリングと歌を歌う、お話などの交流を通して、「クイズボウリングで考えたクイズが、ヴィラージュの人たちには少しむずかしかった」と感じたようです。やはり、実際に関わることが大事ですね。だから、相手に寄り添う気持ちも持てたのだと思いました。この児童は、「これからは、地域の人顔を覚えて、地域のイベントに参加してみたいです。そして、自分から地域と関わっていきたいです。」と感想をしめくくっています。地域の中で、地域の皆様が、子どもたちを育ててくださったことに感謝申し上げます。

1年間、学校教育にご理解とご協力をいただきましてありがとうございました。今後も、子どもたちにとって、学びの多い小学校生活となるよう努めていきたいと思っております。